



SCE-Sniffer RADIUS LEG の概要

この章では、SCE-Sniffer RADIUS LEG ソフトウェア モジュールおよび用語と概念について説明します。

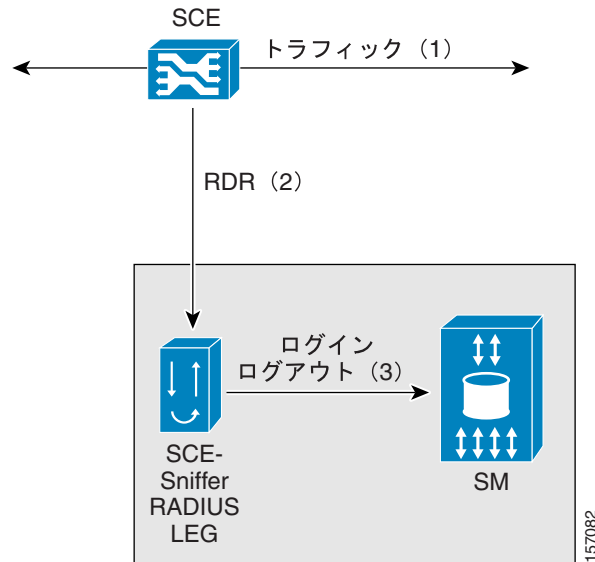
SCMS SM SCE-Sniffer RADIUS LEG は、RADIUS スニファ サービスの設定を行った SCE デバイスから、RADIUS 情報を含む Raw Data Record (RDR) メッセージを受信するソフトウェア モジュールです。SCE-Sniffer RADIUS LEG は、Subscriber Manager (SM) ソフトウェアの拡張機能であり、SM プロセスの一部として稼働します。

- [SCE-Sniffer RADIUS LEG の概要 \(p.1-2\)](#)

SCE-Sniffer RADIUS LEG の概要

SCE デバイスは、通過する RADIUS トラフィックを解析し (1)、RDR プロトコルを使用して LEG に RADIUS トランザクションを報告します (2)。LEG は RDR データとサブスクリバプロパティ (名前、サブスクリバ IP、ドメイン、ポリシー) を関連付けて、SM に対するログインまたはログアウト動作を開始します (3)。

図 1-1 SCE-Sniffer RADIUS LEG の動作



- [RADIUS 統合の概要 \(p.1-2\)](#)
- [用語および概念 \(p.1-3\)](#)

RADIUS 統合の概要

SCE-Sniffer RADIUS LEG は、RFC 2865 (RADIUS プロトコル) および RFC 2866 (RADIUS アカウティング) をサポートしています。

この LEG は、次のパケット タイプを使用します。

- Accounting-Start — ログイン動作を開始します (サブスクリバ IP、ドメイン、ポリシーを使用)。
- Accounting-Interim-Update — ログイン動作を開始します (サブスクリバ IP、ドメイン、ポリシーを使用)。
- Accounting-Stop — ログアウト動作を開始します。
- Access-Request — ドメインとポリシーの関連付けを開始します。
- Access-Accept — ログイン動作を開始します (サブスクリバ IP とポリシーを使用)。

この LEG は、次の属性を使用します。

- User Name (属性 #1) — サブスクリバ ID 用のデフォルトの属性
- NAS-IP-Address (属性 #4) — サブスクリバのドメインとして NAS IP アドレスを関連付けます (任意)。
- Framed-IP-Address (属性 #8) — サブスクリバに IP アドレスを関連付けます。
- Framed-IP-Netmask (属性 #9) — サブスクリバに IP ネットマスクを関連付けます。

- Framed-Route (属性 #22) — サブスクリイバに IP/IP 範囲を関連付けます。
- NAS-Identifier (属性 #32) — サブスクリイバのドメインとして NAS 識別子を関連付けます (任意)。
- Acct-Status-Type (属性 #40) — 異なるアカウントング トランザクションを区別します。

サブスクリイバにポリシーを関連付けるには、ポリシー情報を含む属性を LEG に設定します。Vendor Specific Attribute (VSA; ベンダー固有属性) (属性 #26) は、タイプ `string` または `integer` のすべての RADIUS 属性に加えて、サブスクリイバにポリシーを関連付ける場合に使用できます。

サブスクリイバ ID を決定するには、サブスクリイバ ID 情報を含む属性を LEG に設定します。VSA (属性 #26) は、タイプ `string` のすべての RADIUS 属性に加えて、サブスクリイバ ID を決定する場合に使用できます。デフォルトでは、User-Name (属性 #1) が設定され、サブスクリイバ ID が保持されます。

用語および概念

ここでは、SCE-Sniffer RADIUS LEG、およびその設定と動作を理解するために必要な用語と概念について説明します。その他の項目については、『Cisco SCMS Subscriber Manager User Guide』を参照してください。

- [Login Event Generator \(LEG\) \(p.1-3\)](#)
- [Raw Data Record \(RDR\) \(p.1-3\)](#)
- [Network Access System \(NAS\) \(p.1-3\)](#)
- [RADIUS 認証 トランザクション \(p.1-4\)](#)
- [RADIUS アカウンティング トランザクション \(p.1-4\)](#)
- [Accounting-Start パケット \(p.1-4\)](#)
- [Accounting-Stop パケット \(p.1-4\)](#)
- [RADIUS スニファ \(p.1-4\)](#)
- [サブスクリイバ ID \(p.1-4\)](#)
- [サブスクリイバ マッピング \(p.1-4\)](#)
- [サブスクリイバ ドメイン \(p.1-4\)](#)
- [サブスクリイバ ポリシー \(p.1-5\)](#)

Login Event Generator (LEG)

SM でサブスクリイバのログインおよびログアウト動作を実行し、ダイナミックなサブスクリイバ統合を処理するためのソフトウェア コンポーネントです。

Raw Data Record (RDR)

SCE デバイスがネットワーク トランザクション レポートを外部コレクタにエクスポートするための、クライアント/サーバデータ プロトコル。RDR は、シスコの独自仕様プロトコルです。

Network Access System (NAS)

リモート ユーザのアクセス ポイントとして機能するネットワーク デバイス。リモート ユーザを認証する RADIUS サーバへの RADIUS トランザクションを開始します。

RADIUS 認証トランザクション

RADIUS トランザクションはリモート ユーザの認証およびネットワーク リソースへのアクセスの許可に使用されます。LEG は、RFC 2865 ベースの RADIUS 認証をサポートします。LEG が使用する認証 RADIUS パケットは ACCESS-REQUEST と ACCESS-ACCEPT です。

RADIUS アカウンティング トランザクション

RADIUS アカウンティング トランザクションは、管理を目的として、ユーザが利用したサービスの追跡に使用されます。LEG は、RFC 2866 ベースの RADIUS アカウンティングをサポートしています。LEG が使用する RADIUS アカウンティング パケットは ACCOUNTING-REQUEST だけです。

Accounting-Start パケット

このマニュアルでは、start に設定されている ACCT-STATUS-TYPE 属性を持つ ACCOUNTING-REQUEST パケットを短縮して Accounting-Start パケットと記述しています。リモート ユーザがネットワーク サービスの使用を開始すると、NAS はこのパケットを RADIUS サーバに送信します。LEG は、このパケットを使用して、SM 上のログイン動作を開始します。

Accounting-Stop パケット

このマニュアルでは、stop に設定されている ACCT-STATUS-TYPE 属性を持つ ACCOUNTING-REQUEST パケットを短縮して Accounting-Stop パケットと記述しています。リモート ユーザがネットワーク サービスの使用を停止すると、NAS はこのパケットを RADIUS サーバに送信します。LEG は、このパケットを使用して、SM 上のログアウト動作を開始します。

RADIUS スニファ

RADIUS トラフィックを解析し、その情報を RDR プロトコルを使って SCE-Sniffer RADIUS LEG に送信する、SCE デバイス内部のソフトウェア ロジックです。

サブスクリバ ID

Service Control ソリューションでは、各サブスクリバに固有の識別子を必要とします。サブスクリバ ID は、サービスプロバイダの観点からの論理的なサブスクリバエンティティを表します。

サブスクリバ マッピング

SCE プラットフォームでは、検出したフローのネットワーク ID (IP アドレス) とサブスクリバ ID のマッピングが必要です。SM データベースには、サブスクリバ ID に対応するネットワーク ID が含まれています。サブスクリバと対応するネットワーク ID に関する SCE のマッピングは、この SM データベースから絶えず更新されます。

サブスクリバ ドメイン

SM には、SCE プラットフォームおよびサブスクリバを区分して、サブスクリバ ドメインとするオプションがあります。サブスクリバ ドメインとは、サブスクリバのグループを共有する SCE プラットフォームのグループです。サブスクリバ ドメインの設定は、SM コンフィギュレーション ファイルを使用して行い、設定の内容は SM CLU (コマンドライン ユーティリティ) を使用して確認できます。

ドメインおよびドメインエイリアスについての詳細は、『*Cisco SCMS Subscriber Manager User Guide*』を参照してください。

サブスライバポリシー

サブスライバポリシーパッケージは、通常、Cisco SCMS ソリューションによって各サブスライバに対して強制されるポリシーを定義します。SCE-Sniffer RADIUS LEG は、次のいずれかの方法でポリシーを処理できます。

- RADIUS トランザクションの設定可能な属性に基づいてポリシーを設定する。
- 一定のデフォルト値を使用してポリシーを設定する。
- パッケージ ID を未設定のままにする。

詳細は、『*Cisco Service Control Application for Broadband User Guide*』を参照してください。

